

どの位のヒトが“転倒により骨折”しているか？

2021.9.16

転倒による骨折の経験がある人はどの位か、握力との関係は？

どの位の人が転倒により骨折を経験しているのでしょうか？

骨折の原因は様々ですが、第1回目の報告で、約11%の人が日々の生活の中で“うっかり転倒”を経験していると報告しました。

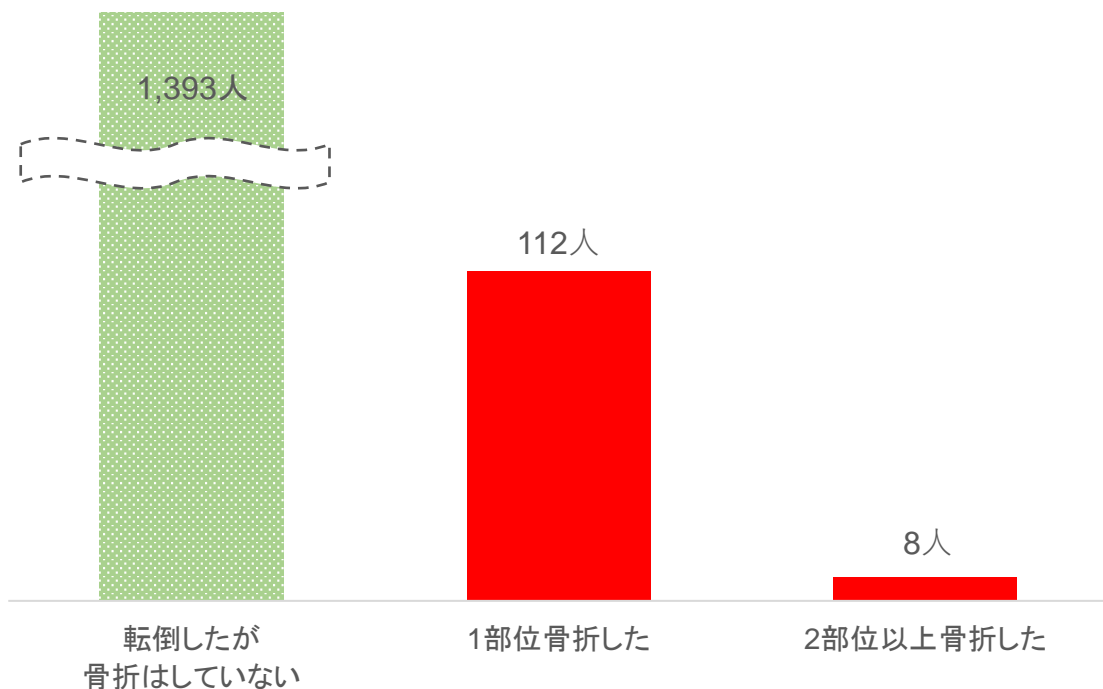
転倒による骨折は、痛みや動けなくなることにより寝たきりにつながりやすく、要介護・要支援となる原因の上位であり社会的な問題となっています。

今回は、“転倒を原因とした骨折”に注目します。

■ 転倒による骨折の発生割合

Q:2020年1月～12月の間に転倒して骨折しましたか？

調査した13,666人のうち1,513人(約11%)が転倒し、
そのうち120人(約0.9%)が骨折していました。



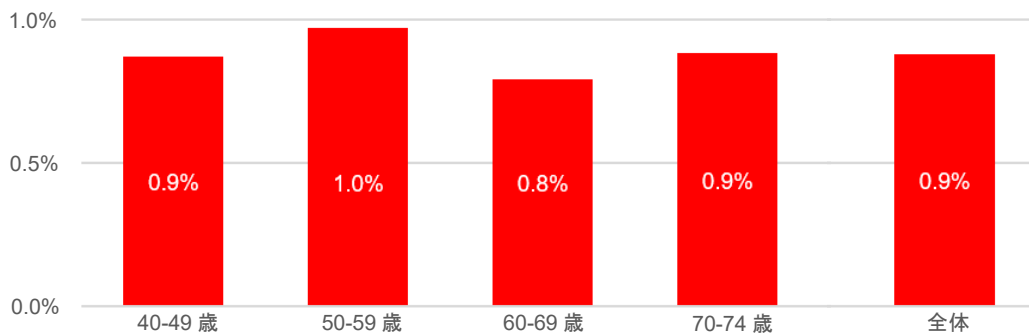
※調査対象者 13,666人 * スポーツや酒酔いによる転倒を除きます。

どの位のヒトが“転倒により骨折”しているか？

■ 転倒による骨折の発生の割合（年齢階層別）

Q: 2020年1月～12月の間に転倒して骨折しましたか？

転倒による骨折はどの年齢層でも約0.9%の発生割合であり、年代による差は認められませんでした。

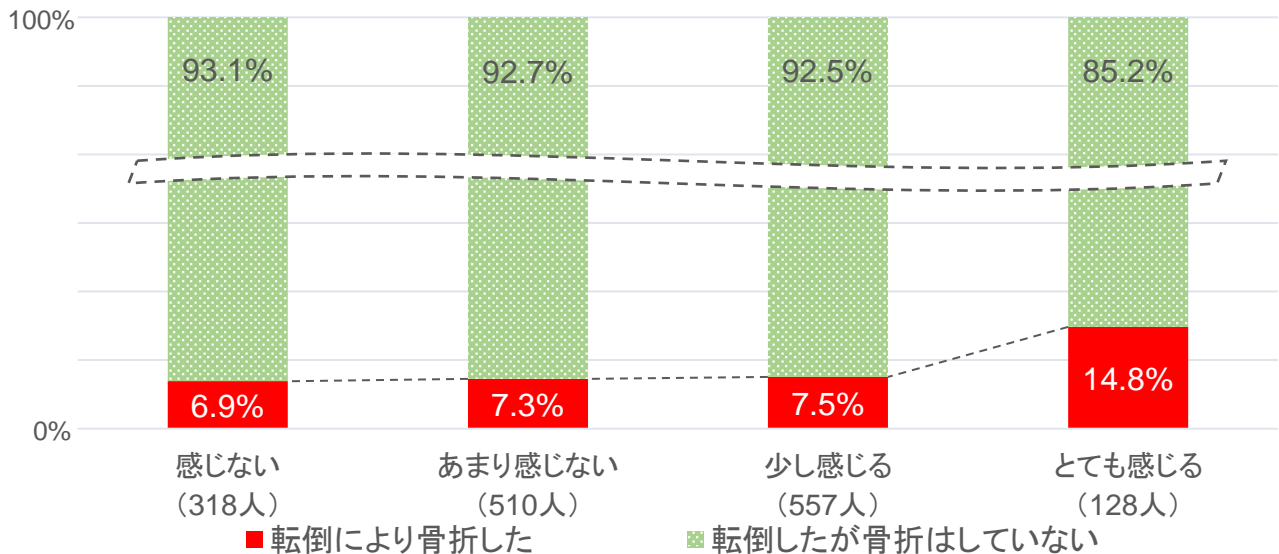


* 骨折により重篤な状態となった方は回答者に含まれていない可能性があります。

■ 転倒による骨折と握力の関係

Q: ペットボトルやビンの蓋を開ける時、握力が弱いと感じますか？

握力が弱いと「とても感じる」人の、転倒により骨折する割合は、それ以外の約2倍でした。



※対象 転倒者 1,513人

Points

第1回目の報告で、蓋を開けるとき「握力が弱いと感じる人」では転倒リスクを予想できるかもしれないと報告しました。

“転倒による骨折”も握力の感じ方から骨折リスクを予想できるかもしれません。